

映像メディアの利用 映像社会学・映像人類学

映像が人間の知覚を変える

- 新しい視覚体験は、人間の思考のあり方にとっても大きな影響を及ぼす。

鉄塔と国家のイメージ

- 建築技術の発展
- 高層建築・鉄塔（エッフェル塔）
- パノラマ的視覚
- 首都・国土を視認
→ 国家のイメージ



La tour Eiffelから観る首都



映画の発明

- オーギュスト&ルイ・リュミエール兄弟
- シネマトグラフの発明
 - 1895年に南仏のシオタで最初の劇場映画を上映
 - 工場からあふれ出てくる工員たちの映像



リュミエールの工場を出てくる群衆たち

WORKERS LEAVING THE LUMIÈRE FACTORY
ARRIVAL OF THE TRAIN AT LA COTAT
FIREMEN—ANSWERING THE CALL

Lumière Films

群衆の映画と大衆のイメージ

- 工業の発達によって農村から都市へ流入してくる人びとの群れ、伝統社会からきりはなされ、都市の居住し賃労働に従事する、匿名の人びとの群れ



- 近代の大衆社会のイメージ

- E・パーク、A・ド・トクヴィル、G・ル・ボン、K・マンハイム、J・ブルクハルト、E・フロム、H・アレントらの大衆社会理論の展開

社会学研究への視覚的アプローチ

- ① 研究手段としての視覚メディア
カメラやビデオカメラといった視覚的なツールを用いてデータを収集する
- ② 研究対象としての視覚データ
写真・ビデオ・映画・TV番組・絵画・デザイン・イラスト・マンガ・建築物・景観などといった視覚的な素材を整理・加工(映像化)して研究のデータとする
- ③ データの視覚的解釈
データを分析して視覚的に解釈する
- ④ 視覚的なアウトプット
調査のアウトプットとして成果を視覚的に表現する

安川一『視覚経験の社会学』

フィールドワークと映像

- フィールドワークの定義

「調べようとする出来事が起きているその「現場」(＝フィールド)に身を置いて調査を行う時の作業(＝ワーク)一般をさす」

佐藤郁哉『フィールドワーク』

18世紀世界探検時代と科学的観察

- クックの世界周航と科学調査
- スケッチ画家 John Webber



19世紀の人類学的探検と写真

- Lindt, John, W., 1887, Picturesque New Guinea



20世紀の民族誌映画

- 映像人類学
 - Jean Rouch
- Moi, un noir de Jean Rouch (1958, France, 70 min.)



フィールドワークにおける映像利用

- (1) 対象者自身によって記録された映像メディアの利用
- (2) 調査記録としての利用
- (3) 調査手段としての利用
 - A 映像撮影によるラポール形成
 - B 映像によるメモ、スケッチ、フィールドノーツ
 - C 映像による対象者へのフィードバックと参加
- (4) 調査報告としての利用

(1) 対象者自身によって記録された映像メディアの利用

- 調査対象者自身が記録し保存している映像メディア
 - ・ 写真（ネガや原版）、映画フィルム（8/16ミリフィルム）、ビデオテープなどの映像メディア
- 行政や地元報道機関などには、現地の歴史文化、祭事、人事、事件事故、イベントなどその土地で起こったあらゆる出来事に関する映像資料が保存されている。

ハワイ日系人家庭に保存された写真

- Okino Namieさん所蔵の写真（サトウキビ農場での労働）
- フィールドワークでの写真の収集（スキャンング）



対象者が所蔵する写真の二次分析

- 地域組織調査
 - ・ 行政や地域の公的な行事の際に撮影された集合写真は、その地域社会や組織における個人の地位や序列関係を反映する指標として利用できる。
- ライフストーリー調査
 - ・ 家族写真は、家族成員の変化や集散をたどる上で、口述のデータを補正する重要なライフドキュメントである。
- 民俗調査
 - ・ 記念写真の背景に映り込んだ建築や街頭風景から歴史的な景観を再現したり、生活スタイルや風俗を分析できる

(2) 調査記録としての利用

- 調査地域の地理的景観や施設などを撮影した映像
- 行事やイベントの過程を撮影したスナップ映像
- 調査対象者たちの日常生活の様子や民族衣装や民具など生活に関わるさまざまな品々の映像
- インタビューなど取材を行った人物のポートレート、訪問した集団や組織などの関係者との集合写真
- 調査活動自体を撮影した映像など

調査チームの集合写真

- ハワイ日系人生活史調査



調査地で撮影されたビデオ

- タイ（ソンクラ）のムスリムの村1989年



1次データとしての映像記録

- これらの映像は、多くの場合はフィールドワークの付帯物にとどまる。
- しかし、記録メディアとしての質を十分に意識することによって、たとえば、マーガレット・ミードとケン・ヘイマンの写真集『家族』が記録写真と文化人類学的知見の融合に成功したように、より効果的な研究成果となりえる。

Margaret Mead and Ken Heyman, 1965,
Family, New York: Macmillan



(3)調査手段としての映像メディアの利用

- A 映像撮影によるラポール形成
- B 映像によるメモ、スケッチ、フィールドノーツ
- C 映像による対象者へのフィードバックと参加

A 映像撮影によるラポール形成

- 取材・調査対象者との良好な人間関係（ラポール）を醸成、維持するために写真を活用する。
インスタント写真を撮影して、調査対象者や協力者に記念品として贈答する

対象者と記念写真を撮る

- カンボジア調査で訪問した村人の家族と撮影

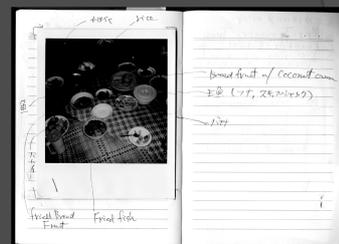


B 映像によるメモ、スケッチ、フィールドノーツ ◆

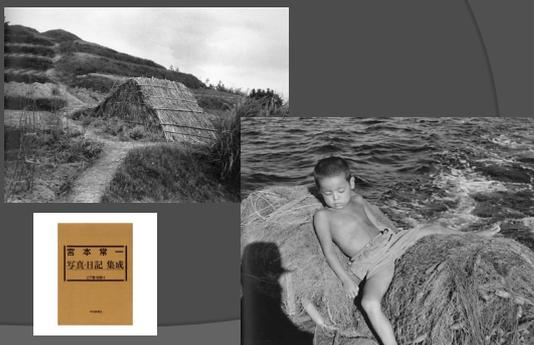
- ◎ 映像によるメモ
 - ポラロイドなどのインスタント写真。フィールドノーツに添付され書き込みが加えられる。
 - 街頭や建物壁面のポスターや掲示物、説明してもらった品々の名前と解説など
- ◎ 映像によるスケッチ
 - 宮本常一の試み
 - ビデオカメラによるスケッチ
- ◎ 映像によるフィールドノーツ
 - フィールドでのセルフビデオ

ノーツに添付された写真メモ

- ◎ キリバス諸島の生活調査のノート



宮本常一の写真日記(スケッチ)



ビデオカメラによるスケッチ ◆

- ◎ タイミドルクラス生活財調査より
 - 手持ちビデオカメラによる生活財調査



セルフビデオ(映像フィールドノーツ)



C 映像による対象者へのフィードバックと参加

- ◎ 調査対象者に現地で撮影したインスタント写真やビデオ映像を見せて対象者たちからの反応を得る
- ◎ 対象者自身に映像メディアを与え、対象者自身やその家族、地域社会などの生活世界を自ら撮影したり、録音したりする
 - 写真投影法など

対象者にビデオを見せる

- ビルマで「ビルマの竖琴」を見せる反応調査



ビルマ、パガンでの反応調査



写真投影法



- 平成12年度、北九州私立幼稚園教師研修大会ウェブページ (<http://akatuki01.ed.jp/~2001/chitekiphoto.htm>) より

(4) 調査報告(レポート)の形式としての映像メディア

従来の方法

民族誌映画・写真集

マルチメディアによる調査レポート

事例：「シュガーケーンフィールドの畔に生きて：カウアイ島日系人二世の生活史」

表現系映像と記録系映像

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 表現系の映像 <ul style="list-style-type: none"> ● 見せたい対象を選別 ● 短いショット ● クローズアップやトリミング ● カットによるモンタージュ ● エスノグラフィックシネマ | <ul style="list-style-type: none"> ● 記録系の映像 <ul style="list-style-type: none"> ● 事実を確認する ● 事実を発見する <ul style="list-style-type: none"> ● 長いショット ● 広角レンズによる撮影 ● 連続撮影 ● フッテージフィルム |
|--|---|

表現系映像の収録(インタビュー番組)



記録系映像の収録(ライフヒストリー・インタビュー)



- 下から撮す
- カメラを固定する
- ワイドで
- ビンマイクを使うとき

映像記録のこころみ

- ◎ 防振ステディカムを使用した在日コリアン・コミュニティのデジタル映像記録



映像記録の方法

- ◎ 地域社会の特徴を一定の包括性をもって記録する防振ステディカムにビデオカメラを装着し、対象地域の街路を切れ目なく連続移動で撮影
- 1 進行方向に向かって左側(街路南側)と、進行方向に向かって右側(街路北側)の2方向の撮影
- 2 御幸森神社西端からコリアタウンを西から東へと移動し、平野川橋の東詰で80度反転し、コリアタウンの東端から同タウンに進入し、一条通を左折(南折れ)し、御幸森小学校前を右折(西折れ)し、ふたたびコリアタウンにもどったところで、御幸森神社方向に左折(東折れ)し、出発点に戻るコースの全行程を、進行方向にカメラを向け、シームレスに撮影した。
- ◎ 映像には、生活景観と生活音を含んだ雑踏社会が記録

撮影装置(ステディカム)



← 1990年
2007年↓

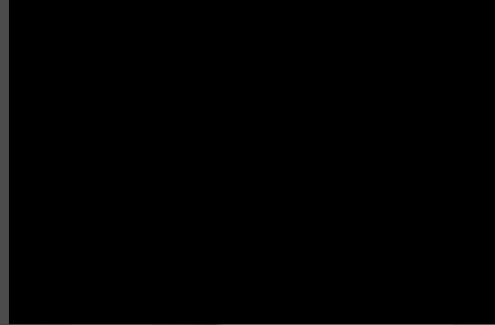
[分析へ](#)

90年のコリアタウン映像 07年のコリアタウン映像

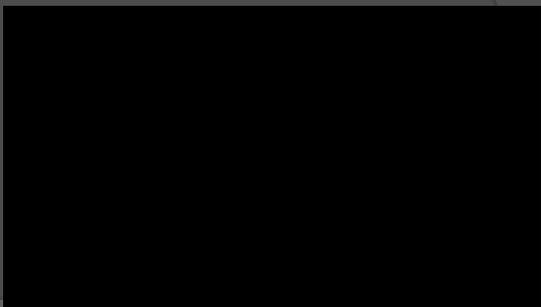
ステディカム90年(ビデオ解説) ◆



シームレス映像 1990年のコリアタウン ◆



シームレス映像 2008年のコリアタウン ◆

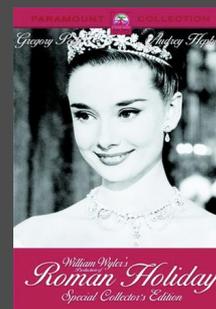
シームレス映像 2008年のコリアタウン
(進行方向)

画像分析の枠組み

- イコン
 - 類似性、近似性によって、意味するものが意味されるものを表現する記号
- インデックス
 - 意味するものと意味されるものが固有の関係をもっているために、その性質を測る記号
- シンボル
 - 意味するものが意味されるものと約束事によってそれを表現する恣意的な記号

イコン

- 類似性、近似性によって、意味するものが意味されるものを表現する記号
 - (ローマの休日 製作60周年記念 デジタル・ニューマスター版スペシャル・コレクターズ・エディション、発売元：パラマウントジャパン、4179円より)



インデックス

- 意味するものと意味されるものが固有の関係をもっているために、その性質を測る記号
- 桜=春



シンボル

- 意味するものが意味されるものと約束事によってそれを表現する恣意的な記号
- 犬=権力の手先、黒猫=不吉な兆候、白鳩=平和、コウモリ=どっちつかずの二重性
- 旧名古屋高等裁判所（市政資料館）のステンドグラスに表現された天秤=審判のシンボル



分析1: チョン・ヤンイさん



分析2: 秋庭裕さん



観察と分析の事例 2007年のコリアタウン



2007年の映像の読み取り風景

- キム・ミソン氏（社会言語学）の読み取り



分析の事例: チョンヤンイ氏

- 女性が焼いているのが、テジカルビ(アイコン・レベル)
 - 豚肉にタレ(ヤムニョン)に漬けて焼く、韓国では一般庶民に人気のあるB級グルメ
 - 今日の韓国文化の急速な浸透の兆候がある。
 - テジカルビは現代韓国からの文化流入を示すインデックス



分析の事例2: 秋庭裕氏

- 「韓国式」というメッセージ
 - この街のアイデンティティとしてはっきりと主張
 - 客層の変化: 日本人観光客の増加
- 「法事料理…承ります」というメッセージ
 - 儒教の強い伝統を受け継ぐ在日コリアンの家庭への仕出し屋の機能。
 - 法事を簡略化しようとする在日の新しい世代の家庭の登場
 - 在日コリアン社会がゆるやかに変化を示しているのでしょう。



観察結果1 エスニックの視覚化と単色化

- 90年の映像にくらべて、07年の映像では、韓国文化をしめす指標記号(インデックス)が全体として増加している。たとえば、商店街の出入りに百済門が設置され、案内板には道祖神、いくつかの商店の店頭には、済州島の民俗である石像などが配置されている。この17年間に、コリアタウンはエスニック文化の視覚化が進んだ。
- 17年間にコリアタウン内に混在していた非コリアン商店の数に大きな変化はなかった。しかし、全体として韓国文化の視覚化が拡大したため、街全体としては、韓国文化の単色化が進行したような印象をあたえている。

道祖神 天下大將軍・地下女將軍 90年



観察結果2 外部指向と観光化

- 韓国料理の食材や民族衣装などを販売する店の数は、ゆるやかに増加している。
- ただ、90年の映像では、キムチやコチジャン、乾燥わらびなど韓国食文化を代表する商品には、商品名がつけられていない場合が多く、また、商店の名前も日本式の屋号を持つものが多い。
- 07年の映像では、商品名が明示されている場合が多く、また、店頭の広告にも、ハンゲルで表示されたものやコリアンの店であることを明示した店舗が増えている。
- この事実は、コリアタウンが、在日コリアンの生活物資を提供する商店街の性格より、コリアンの文化をもとめて訪れる日本人観光客を顧客とする傾向が強まっていることを示している。観光化の傾向がこの17年間に教化されたといえる。

店頭比較 90年と07年



観察結果3 ニューカマーの登場

- 店舗の中には、韓国から輸入された食材やインスタント食品、韓国映画やテレビドラマに関連するキャラクター商品などを販売する店舗が加わった。それにくらべて、地元あるいは日本で製造された食材や物品を販売する店舗は微減の傾向にあった。この事実は、コリアタウンにおけるニューカマーの増加を反映しているものと思われる。と同時に、コリアタウンが現代の韓国文化をより強く反映する傾向をもつように変化していると思われる。

M-net 韓国キャラクターグッズ店



映像から読み取る「情報」とは？

- 視覚化された変化、兆候、出来事の痕跡
- 仮説を提供してくれるヒント
- 出来事の意味を直感させるイメージ
(しかし)
- そのとき限りの例外？
- 誤認？
- 仕組まれた罠？
(したがって)

聞き取り調査や統計調査による裏付けが必要

おしまい

宣伝します
近刊の新著です。

七つ森書館

